

公益財団法人仁科記念財団
臨時理事会議事録

1. 日時 令和4年7月1日（金曜日）17時30分～18時00分
2. 形式 オンライン会議（Zoomによる）
3. 出席 総数11名（理事現在数11名）

出席理事：

安藤恒也 家 泰弘 伊藤公孝 上蓑義朋 梶田隆章
小林 誠 佐々木節 十倉好紀 永宮正治 藤川和男
矢野安重

以上 11名

出席監事：

荒船次郎 鈴木増雄

以上 2名

4. 議事の経過と結果

本臨時理事会をオンライン会議として開始するにあたって、出席（参加）理事、監事、全員の音声および映像が共有されていることを確認した。

定刻、小林理事長が議長となり、出席理事数が定款第37条3項に定める定足数6名に達していることを確認の上、理事会開会を宣言した。

(1) 議案審議

第1号議案：国立研究開発法人理化学研究所主催の「仁科芳雄記念室お披露目会およびシンポジウム」を共催する件

今般、国立研究開発法人理化学研究所理事長より、当研究所が本年10月28日に主催する「仁科芳雄記念室お披露目会およびシンポジウム」を共催していただきたい旨の依頼があり、事業の趣旨に鑑みて、依頼を受諾することとした。

以上で議事を終了し、本理事会の議事録署名人は定款第40条に則り、理事長のほか荒船監事および鈴木監事とすることとした後、理事長 本理事会の終了を宣し閉会した。

以上の議事録が正確なものであることを証するため、議事録署名人、下記に署名捺印する。

令和4年7月1日

公益財団法人仁科記念財団 臨時理事会

理 事 長

小 林 誠

監 事

荒 船 次 郎

監 事

鈴 木 増 雄

本議事録の作成にかかわる職務を行ったものの氏名

公益財団法人仁科記念財団 常務理事 矢野安重

令和4年6月28日
22理研仁数第37号

公益財団法人仁科記念財団
理事長 小林 誠 様

国立研究開発法人理化学研究所
理事長 五神 真



仁科芳雄記念室お披露目会及びシンポジウムにおける
共催について（依頼）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。当研究所の運営につきましては、毎々格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

理化学研究所は、大正6年（1917年）に、皇室からのご下賜金等により、我が国産業の発展に資する科学研究と応用研究を行う財団法人として創設されました。その後、株式会社、特殊法人、独立行政法人、国立研究開発法人へと変遷しつつ、長年にわたり自然科学の総合研究所として活動を続けてまいりました。

今般、当研究所は、貴財団より仁科芳雄博士が当時使用された家具や書簡といった歴史的資料を寄贈いただいたことから、当研究所仁科加速器科学研究センターの由来となっている仁科芳雄博士の研究室を再現することとなりました。また、昨年は仁科芳雄博士が理化学研究所に仁科研究室を創設してから90周年の節目の年でもありました。仁科芳雄記念室の完成を記念してお披露目会を開催するとともに、仁科芳雄博士の意思を継承し、各分野で歴史を紡いできた関係者にお集まりいただき、将来を見据えた我が国の研究基盤、社会基盤ならびに人材育成の在り方等について考えるシンポジウムを開催することとしております。

つきましては貴財団に本お披露目会及びシンポジウムの共催を賜りたくお願い申し上げます。

なお、本お披露目会及びシンポジウムの開催概要は下記のとおりです。

記

1. 主催等

主催：国立研究開発法人理化学研究所

共催：公益財団法人仁科記念財団（予定）、公益社団法人日本アイソトープ協会（予定）、公益財団法人科学振興仁科財団（予定）、科研製薬株式会社（予定）

2. 日時・場所

令和4年10月28日（金）13時00分～19時00分（予定）

国立研究開発法人理化学研究所和光地区（埼玉県和光市広沢 2-1）

3. 出席者：約70名

4. 内容

- ・仁科芳雄記念室お披露目会
- ・シンポジウム「理化学研究所仁科研究室のキセキ」（仮）

以上

公益財団法人 仁科記念財団
第3回 運営会議・運営諮問委員会 議事次第

日 時：2022年7月1日（金）18:00~19:30

形 式：WEB会議（by Zoom）

議長：理事長

1. 開会

2. 報告事項

- ① 7月1日17:30~18:00に臨時理事会が開催され、国立研究開発法人理化学研究所理事長から依頼のあった「仁科芳雄記念室お披露目会およびシンポジウム」（10月28日）の共催を受諾することとした。
- ② 第12回定時評議員会が6月6日14:00より東京都千代田区九段の私学会館にてオンライン併用のハイブリッド会議として開催され、1) 令和3年度事業報告書および決算書および 2) 会計監査人の重任が承認された。議事録、事業報告書、決算書は内閣府に申請済み。HPにも公示されている。
- ③ 2022年版「仁科記念財団案内」をHPに掲載するとともに、財団関係者には冊子を郵送した。
- ④ 日本物理学会誌（資料）、応用物理学会HPに、2022年度(第68回)仁科記念賞候補者推薦依頼記事が掲載された。「仁科記念賞候補者推薦依頼者」には、6月初旬にメールにて依頼済み。

3. 運営諮問委員会への諮問事項

- ① 第11回以降のNAAをどうするかについて
- ② 仁科記念賞賞牌（現在約23万円）のコストダウンについて

〔運営諮問委員会〕 議長：早野委員長

議題 1. 前回議事録（案）の確認（資料）

議題 2. ①について

議題 3. ②について

4. その他（次回日程）

5. 閉会

[ここに入力]

■2022年度仁科記念賞候補者推薦依頼

対象 基礎物理学及びその応用に関し、優れた研究業績をあげた研究者を表彰。

顕彰 賞状、賞牌及び副賞(60万円/件)を3件以内贈呈。

推薦方法 以下の書類各1部をe-mailで送付。書類形式は電子ファイル(Word又はPDF)。○仁科記念賞推薦票A4判1枚(本財団HPに様式有):候補者の氏名(英文表記を付す)・年齢・所属・職・連絡先(勤務先電話・e-mail)、業績題目(和文及び英文)、業績要旨(約10~20行)、推薦者の氏名・所属・職・連絡先(自宅又は勤務先の所在地・電話・e-mail)、候補者との関係を記載、推薦理由書A4判約2~3枚(参考となる論文リスト含、共同研究の場合は各候補者の役割分担を記載)、略歴(推薦者が分かる範囲にて可)
○特に対象となる業績の論文5編以内

405

©2022 日本物理学会

応募締切 2022年8月31日(水)

問合せ先 113-8941 東京都文京区本駒込
2-28-45 公益財団法人仁科記念財団
矢野安重 電話 03-3942-1718 Fax 03-
5976-2473 nkz@nishina-mf.or.jp
<http://www.nishina-mf.or.jp>

公益財団法人 仁科記念財団
第2回 運営諮問委員会 議事録（案）

日 時：2022年5月20日（金）18:00~19:30

形 式：WEB会議（by Zoom）

出 席：

運営諮問委員（委員現在数6名）出席者3名：

早野龍五、磯暁、永長直人

理事：

小林誠、家泰弘、藤川和男、矢野安重、上叢義朋、梶田隆章、佐々木節、十倉好紀、
永宮正治

監事：

荒船次郎、鈴木増雄

オブザーバー：

秋光純、西村純、山田作衛

事務局：

松林孝昭

1. 〔理事長・事務局等報告〕

- ① 5月20日17:30~18:00に第39回理事会が開催され、令和3年度事業報告書案および決算書案が承認され、第12回定時評議員会に諮ることを承認した。また、第12回定時評議員会は6月6日14:00より東京都千代田区九段の私学会館にてオンライン併用のハイブリッド会議として開催するとした。議案は、1) 令和3年度事業報告書案および決算書案の承認、の1件。
- ② 2022年度（第68回）定例仁科記念講演会は、12月3日（土）に、永長直人委員と斎藤英治東京大学大学院工学系研究科物理工学専攻教授を講師として開催されることになった。
- ③ 5月16日17:00より、第1回の第10回NAA選考委員会が開催された。候補者は25件（中国19件：うち香港2件、韓国2件、インド3件、台湾1件）。審議の結果、6名の候補者を残し、その中から8月4日（木）の第2回NAA選考委員会で受賞者を決定する。
- ④ 4月28日、山田評議員会会長、小林理事長、藤川、家、矢野常務理事で、来期（2023年6月以降）の新理事長、常務理事、事務局について意見交換を行った。

2. 〔運営諮問委員会への諮問事項〕

- ① 2022年度（第68回）定例仁科記念講演会の講演会テーマ、講演題目、開催時間、開催場所と形式について
- ② 第11回以降のNAAをどうするかについて

3. 〔運営諮問委員会〕

議長：早野委員長

議題 1. 前回議事録（案）が確認された。

議題 2. ①について：家常務理事から「ポスター案」（資料）が提示され、この案に沿って準備を始めることとした。

議題 3. ②について：次回の運営会議で基本方針を決定する。

4. 次回の 2022年度第 3 回運営会議・運営諮問委員会は 2022 年 7 月 1 日（金）17:30～19:30 に WEB で開催することとした。

5. 閉会